



2024年10月1日発行
 (毎月1日発行)
 1984年8月15日第3種郵便物認可
 発行所/(公財)熊本YMCA
 〒860-8739
 熊本市中央区段山本町4-1
 Tel 096-353-6397(代)



熊本YMCA学院 建築科2年生

小山 真司 さん

「壊す」から、「つくる」へ

「本当に学校に行くの?本気なの?」。中学生時代の自分を「やんちゃだった。遊びほうけていた」と振り返る小山真司さんが社会人生活を経て「熊本YMCA学院の建築科に入学する」と言った時、周りは驚いたそうです。当時24歳。進学を決意するまでには紆余曲折がありました。

転機は高校生の時にさかのぼります。入学した学校になじめず、通信制の高校に転校した小山さんは、友人から「人手が足りない」と誘われて解体業のアルバイトをはじめました。「昼間は空いているので」と軽い気持ちで現場に赴いた小山さん。しかし、携わる現場の多くは熊本地震で被災した益城町の家屋でした。「住民は壊したくて壊しているわけじゃない」という現実を目の当たりにし、次第に「自分が助けてあげられることはないか」と考えるようになったといいます。「ぐちゃぐちゃになった住宅で、住民の方に『あそこに写真があるはずだから、とってきてほしい』ということをお願いされたり。今思い出しても心が痛くなりますが、そういう経験はすごく勉強になりました」。

様々な住民たちとふれあいながら、解体業を4年間勤めた小山さんは、次第に「壊す方ではなくて、つくる方になってみたい」と考えるようになります。解体を続けるうちに住宅の構造が理解できるようになったこともきっかけの一つでした。

新たな挑戦で描く未来の設計図

もっと大きな夢を

小山さんは、21歳の時にシステムキッチンやユニットバスなどを製造販売する大手住宅設備機器メーカーに就職。キッチンの設置などを担当します。新築の住宅を訪問して行う仕事は「思っていた以上に楽しかった」と小山さん。24歳まで勤め、班長を任されるようになります。そのまま昇進していく自分の姿も思い浮かんだものの「もっと大きな夢を見たい」と思うように。「自分のハウスメーカーを立ち上げたい。そのためには建築の知識や資格が必要だ」と一念発起。新たな挑戦に不安を抱えながらも熊本YMCA学院の門を叩きました。

「以前はあまり勉強していなかった」という小山さんは、数学が必要な力学や、建築の場面で使う難しい漢字に苦労しました。さらに、高校時代から建築について学んでいるクラスメイトもいる中、慣れない製図の授業に「おいていかれてしまう」と焦りが募る日々。しかし、今は建築の勉強をしている時が好きなのだと言います。「中学時代の勉強からやり直しました。やりたいことを見つければ勉強が楽しくなったんです。今は図面も楽しく書けています。でも、ギリギリ追いついていない感じが」と笑顔を見せます。力学についてクラスメイトに教えてもらうこともあれば、小山さんが木構造や実際の建築現場の流れをクラスメイトに説明することも。入学前に感じていた「年の離れた自分は、周りのクラスメイトと合わないんじゃないか」という思いは、いつの間にか消えていました。

この道に飛び込んでよかった

小山さんは、今年8月、クラスメイトに誘われて広島YMCAが主催する国際青少年平和セミナー(3面に関連記事)に参加しました。日本各地や海外のYMCAから若者があつまり、平和について考える4泊5日のプログラムです。「宿泊は山間の宿舎。周りは知らない人ばかりでした」。英語が苦手だという小山さんは、1日目は「帰りた。タクシーをよんで逃げ出そうか」とまで考えますが、身振り手振りや音楽でコミュニケーションをとって奮闘。「日に日に楽しくなって、最終日には帰りたくないと思った」と語ります。「初めて会う人たちと一緒に平和について真剣に話し合う時間。普通の学校生活では経験できません」。



現在2年生。卒業まで半年となりました。授業の一環で建築業界の社長や社員の話を聞くことは小山さんにとって大きな刺激になっています。さらに、自ら複数のハウスメーカーに電話をして、相談にのってくれないかと社長に直談判するなど、夢の実現に向けて走り続けています。「日本の住宅だけでなく海外の住宅のことも学んで、将来は様々な提案ができるハウスメーカーを立ち上げたい。何より、お客様に喜んでもらえたらいいなと、それを一番に思っています」。2年前は仕事を続けるか進学するか、ぎりぎりまで迷っていたそう。「不安もあったけれど、YMCAに飛び込んでみてよかった。今、心からそう思っています」そう話す小山さんの目には、確かな決意と希望が宿っていました。

Pickup

熊本YMCA学院
 ホテル観光科
 長崎研修



熊本五福幼稚園
 夏まつり

ぶどうの木
 体育英語幼稚園
 韓国釜山の
 大学生と交流



Information 行こう 見よう 深めよう

熊本YMCA幼稚園・幼児園・専門学校 2025年度募集スタート

3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
新年度 × 募集

キリスト教の教えに基づき、キリスト教保育を基盤として運営する幼稚園、幼児園と開校75周年を迎え、専門教育、人間教育、キャリア教育を教育方針として学生たちを育成する専修学校熊本YMCA学院が2025年度の園児、学生、受講生募集を開始します。

幼稚園・幼児園

	場所・連絡先	入園受付開始
YMCA水前寺幼稚園	熊本市中央区出水3丁目12-1 Tel 096-362-4141	10月1日(火)6:00 Webのみの受付▶
YMCA熊本五福幼稚園	熊本市中央区魚屋町1-9 Tel 096-352-2981	10月1日(火)6:00 Webのみの受付▶
YMCAぶどうの木幼児園	熊本市南区田迎5-12-50 Tel 096-353-6391 (音声ガイダンス「2」)	10月1日(火)11:00 Webのみの受付▶

専修学校 熊本YMCA学院

熊本YMCA学院 Tel 096-353-6393

詳細はWebで▶



学科	目指せる職種・資格
一級・二級建築士をめざす 建築科	建築士・インテリアデザイナー・住宅設計・ 建築設計士・建築施工管理技士
東京YMCA国際ホテル専門学校連携 ホテル観光科 ホテル観光コース/国際ビジネスコース ※NEW	ホテル・観光・プライダプランナー・ レストランサービス技能士・貿易事務・バイヤー・ グランドサービス
日本医師会認定医療秘書養成校 医療秘書科	医療秘書・医師事務作業補助・医療事務・ 看護事務補助・薬局事務
スポーツ指導現場との連携 健康スポーツ科	スポーツインストラクター・健康運動実践指導者・ NSCA認定パーソナルトレーナー・介護予防運動指導士
指定保育士養成施設 こども保育科	保育士・幼稚園教諭・児童指導員・児童支援員
社会福祉学科 通信制	社会福祉士 (2023年度国家試験合格率80.6%)
精神保健福祉学科 通信制	精神保健福祉士 (2023年度国家試験合格率87.5%)

すべての子どもたちの 幸せを願って

YMCAインターナショナル・チャリティーラン

3 すべての人に健康と福祉を
16 人や国の不平等をなくそう
ラン × チャリティー

YMCAインターナショナル・チャリティーランは、障がいの有無にかかわらずすべての子どもたちが、ともに幸せに生きていける社会を目指して、全国のYMCAで開催しています。第9回熊本大会には、パリパラリンピック競泳メダリストの富田宇宙さんが全国大会委員長として来場予定です。収益は、YMCAが展開する子どもたちへの特別支援プログラムへ充当されます。



11月17日(日)10:00~12:30

場 益城町総合運動公園 陸上競技場

コース・参加費

グループラン(5名)	高校生以上	10,000円
	小中学生チーム	5,000円
ファミリーラン1家族		3,000円
個人ラン	高校生以上	2,000円
	小中学生	1,000円



熊本YMCA 本部事務局 Tel 096-353-6397

お申込みはWebで▶

外国籍人材の 雇用と育成を考える パネルディスカッション

8 働きがいも経済成長も
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
企業 × グローバル

企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が「外国籍人材の雇用と育成を考える～すべての人が輝ける職場づくり～」をテーマにパネルディスカッションを開催します。熊本で働く外国籍人材の声などを通して共に熊本の未来について考えましょう。



10月11日(金)17:00~18:30

場 城彩苑内 多目的交流施設

熊本YMCA本部事務局

Tel 096-353-6397



▶お申込みはWebで

日 日時 場 会場 内 内容 費 参加費 定 定員 案 参加条件 持 持ち物 対 対象 催 主催 締 締切 申 申込 問 問合せ 他 その他

COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.31

総主事 光永 尚生



君は愛されるため生まれた

「君は愛されるため生まれた」という歌をご存じでしょうか。オカリナを使った讃美歌の場合もありますが、日本語、韓国語など多言語でも歌われています。熊本YMCAのぶどうの木体育英語幼児園で、保護者の皆さんとスタッフとリーダーが歌いながら、毎月、お誕生会を開いた時には涙したものでした。

「君は愛されるため生まれた。君の生涯は愛で満ちている。永遠の神の愛は、われらの出会いの中で実を結ぶ。君の存在が私には、どれほど大きな喜びでしょう。君は愛されるため生まれた。今もその愛受けている」。この歌詞を歌っている時、母も父も笑顔です。それを見ている子どもたちも笑顔で溢れています。いつの間にか、皆が一緒に歌っている時、その空間は笑顔で溢れていきます。はじけそうな笑顔ですね。

私たちは、今この時、苦悩しています。毎日のニュースで流れる戦争被害によって、様々な場所で、多くの子どもたちのいのちが奪われ、天に召されていく事を見守るだけです。特に、ガザでは「ポリオ」の蔓延が危惧される中、停戦が実施され90%といわれる子どもたちに第1回

目の予防接種が行われましたが、未だ道半ばです。世界のロータリークラブでは、10月24日を「世界ポリオデー」と定め、ポリオ根絶を目指してきました。今年も、10月24日は、熊本城天守閣を真っ赤なライトアップで夜空を染めていただくようお願いし、熊本からポリオ撲滅の祈りを捧げます。

私たちにできることは小さいですが、「君は愛されるために生まれた」ことを、今から後世の子どもたちに伝えていくすべを、決してあきらめてはなりません。私たち大人が、「愛されるよりも愛することを実践できる時」今日も、ガザやウクライナ、敵対する国で暮らす、すべての子どもたちの命の存在の尊さを祈りに加えて、覚えていただければ幸いです。

R | E | P | O | R | T

専門学校 「夢は叶う」 オリンピックメダリストが講演



熊本YMCA学院 末松大喜

2024年8月3日(土)、熊本YMCA学院がテコンドーで日本人唯一のメダリストである岡本依子さんを迎え、講演会を開催しました。岡本さんは、テコンドーでオリンピックに3回出場。2000年に開催されたシドニーオリンピックでは67kg級で銅メダルを獲得しました。

講演会では「夢は叶う!」をテーマに、岡本さんが夢を持ち始めた時のことや、アメリカの道場での学び、オリンピックに出場する前のトレーニング内

容等、様々な経験について語られ、「夢を持つことで生き方が全く変わりました。苦しいことがあっても逃げなくなり、壁が出来ても乗り越えられる力が与えられました」と参加者にメッセージをおくりました。

後半は、岡本さんとながりのあるテコンドーチームの皆さんも加わり、大人から子どもまで参加者全員でテコンドーの練習を体験。はじめての板割りにチャレンジする参加者もいて「楽しかった」、「夢の大切さに気付いた」とキラキラした目で感想を話してくれました。



国際 ユースが平和について考える 国際青少年平和セミナー



グローバル事業部 麻生由紀

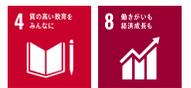
広島YMCAが主催し、8月4日(日)~8日(木)に開催された第43回国際青少年平和セミナーに、熊本から高校生、専門学校生5名と共に参加しました。今年のテーマは「絆」。「まずは世界に仲間をつくろう」「友だちのいる国とは戦わない」というコンセプトのもと、国内外から32名の若者が集いました。開会式後の小倉桂子さんによる被爆者証言は、大変インパクトの強いものでした。すべて英語で、ご自身の心からの言葉で語られ、一言一言に

重みを感じました。その後、平和記念公園や資料館見学、慰霊碑を巡り、8月6日には平和記念式典に参列しました。

初日には言葉と心の壁を感じていた熊本からの参加者も、時間の経過とともに壁を乗り越え、真剣な表情でディスカッションをする姿が見られ、「ここから平和が生まれる」と感じました。参加者たちからは「素敵な出会いがたくさんありました」「一生の友だちができました」などの感想が聞かれました。この経験を多くの人に伝えてほしいと思います。



社会貢献 将来の担い手育成を おしごとカフェを開催



YMCAフィランソロピー協会事務局 大塚永幸

8月7日(水)、本館/グローバルコミュニティセンターで「おしごとカフェ」を開催しました。企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が主催。児童養護施設の子どもの「仕事観」や「職業観」を育むこと、地域ぐるみで将来の担い手育成に取り組むことが目的で、県内の児童養護施設など5施設から引率者含めて28名が参加、8企業・団体が出展しました。

はじめに各企業が自社の魅力をアピール。その

後、「マナー講座」として名刺交換について説明を行い、実際に子どもたちと企業人が名刺交換の練習を行いました。はじめは緊張した様子の子どもたちも、企業人とのふれあいの中で次第に笑顔が見られるように。続いて、子どもたちがグループに分かれて、企業のブースをまわる「おしごと説明会」を実施。各企業の趣向を凝らした説明を子どもたちは真剣な様子で聞き入り、積極的に質問をする姿も見られました。銀行員のお金の数え方、産婦人科での赤ちゃんの接し方などの体験を実施するブースもあり、子どもたちは興味津々の様子でした。



災害支援 被災児のこころのケアのために 10回目のキャンプを開催



ユースコーポレーション 堤雄一郎

8月10日(土)から12日(月)の3日間、阿蘇キャンプを拠点に「あそぼうキャンプ」を開催しました。このキャンプは豪雨や地震で被災した子どもたちのこころのケアを目的とし、10回目を迎えました。今回は熊本豪雨災害で大きな被害を受けた球磨村の小学生17名が参加。リーダーや精神科医や臨床心理士、小児科医やカウンセリング、キャンプの専門家ら24名がサポートしました。子どもたちは阿蘇の小川での「川の生き物捕獲作戦」、ヨガ、

ホースライディングなどに挑戦。乗馬では「馬に乗ってみるのは怖かったけれど、最後まで乗り切ることができて、馬に『ありがとう』と声をかけると『どういたしまして』と聞こえた気がしました」と感想が寄せられました。

キャンプファイヤーでは、グループごとに思い出をオリジナルのヨガポーズで表現。阿蘇の夜に子どもたちの笑い声が響き、仲間との絆を感じる時間でした。最終日に行われた「あそぼう宣言」では、将来の夢やなりたい自分を皆力強く宣言。子どもたちのたくましさを感じることができました。



夏を楽しもう! YMCAサマーキャンプ[後半]

8月に実施したキャンプの様子を報告します。



ウィンターキャンプ

サマーキャンプに参加してくれたみんな、ありがとう。
冬もリーダーたちが待ってるよ。



タイガーリーダー

受付開始 11月9日(土)9:30~

☑ 冬あそび満載キャンプ、デイキャンプ、スキーキャンプ(予定)

能登半島地震支援情報

今年1月に発生した能登半島地震を受けて、全国のYMCAでは6月末まで募金活動に取り組みました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

熊本YMCA 募金額 **4,036,102円**

皆様からの募金は全国のYMCAの募金とあわせ、避難所運営サポートのほか、被災した子どもたちを対象に「国立立山青少年自然の家」(富山県)を会場に開催された2つのリフレッシュキャンプにも用いられました。キャンプには総勢26人が参加。滋賀、富山など全国のYMCAから集まったユースボランティアリーダーが子どもたちに寄り添いました。

- ①キズナキャンプ(小学3年生~中学生対象)
☑ 8月9日~12日(3泊4日)
- ②フレンドシップキャンプ(小学1~4年生対象)
☑ 8月18日~20日(2泊3日)



リフレッシュキャンプの様子▶

わたしと聖句
日本福音ルーテル広島教会
立野泰博

コリントの信徒への手紙2 2章4節
わたしは、悩みと愁いに満ちた心で、涙ながらに手紙を書きました。

パウロは、コリントの信徒に5通の手紙を送っています。その中に「涙の手紙」があります。パウロはコリント滞在の計画を立てていました。ところが、なにかの不祥事があり、中断してエフェソに戻っていきました。訪問をする代わりに「涙の手紙」を送ったのです。

ラジオで「ラブレターの書き方」を話していました。現代はラブレターって何?と聞かれそうです。手紙ではなくメールやラインを使います。いまさら手紙?と思います。ところがラジオは、手紙と

「行間の思い」
この「行間の思い」を伝えるのは大変難しいです。手紙はただの連絡事項を書くのではなく、思いを伝えることのためにあります。手紙は率直に書かず、しかし思いがわかるような文章を書くものだそうです。手紙のなかに秘められた力は、思いの深さからくるようです。これを伝えるのです。私たちYMCAもこの行間の思いを大切にしています。目に見えることだけでなく、その背景にある神様の愛と奉仕が伝わる活動こそがYMCAの働きです。

パウロの手紙は現代の私たちに神様の福音と愛を伝えます。手紙の行間を通して語られたキリストの愛がそこにあります。手紙の行間から神様の愛が聞こえ、私たちに深く語りかけてくるのです。これこそ神様のラブレターです。

発行所/(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)
発行人/光永 尚生 編集人/大塚 永幸
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2024年度基本聖句

マタイによる福音書 5章16節
あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。